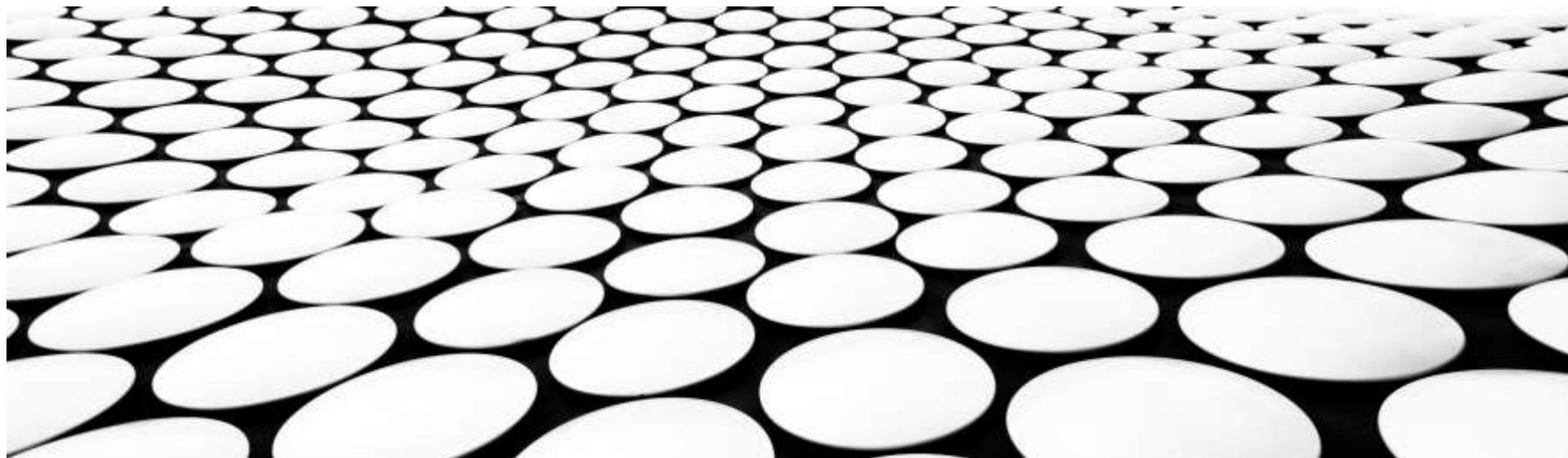


---

---

# 保育人間学

保育心理士資格取得講座 2024



今の時代 どこに向かっている……

**幸せの正解** を探し、目指してきた社会

便利で安全で快適な社会 の次は？

昭和の物を買って快適を目指す

困ることが無くなってきた令和の時代

モノが買われない時代

部質的に満足している世界

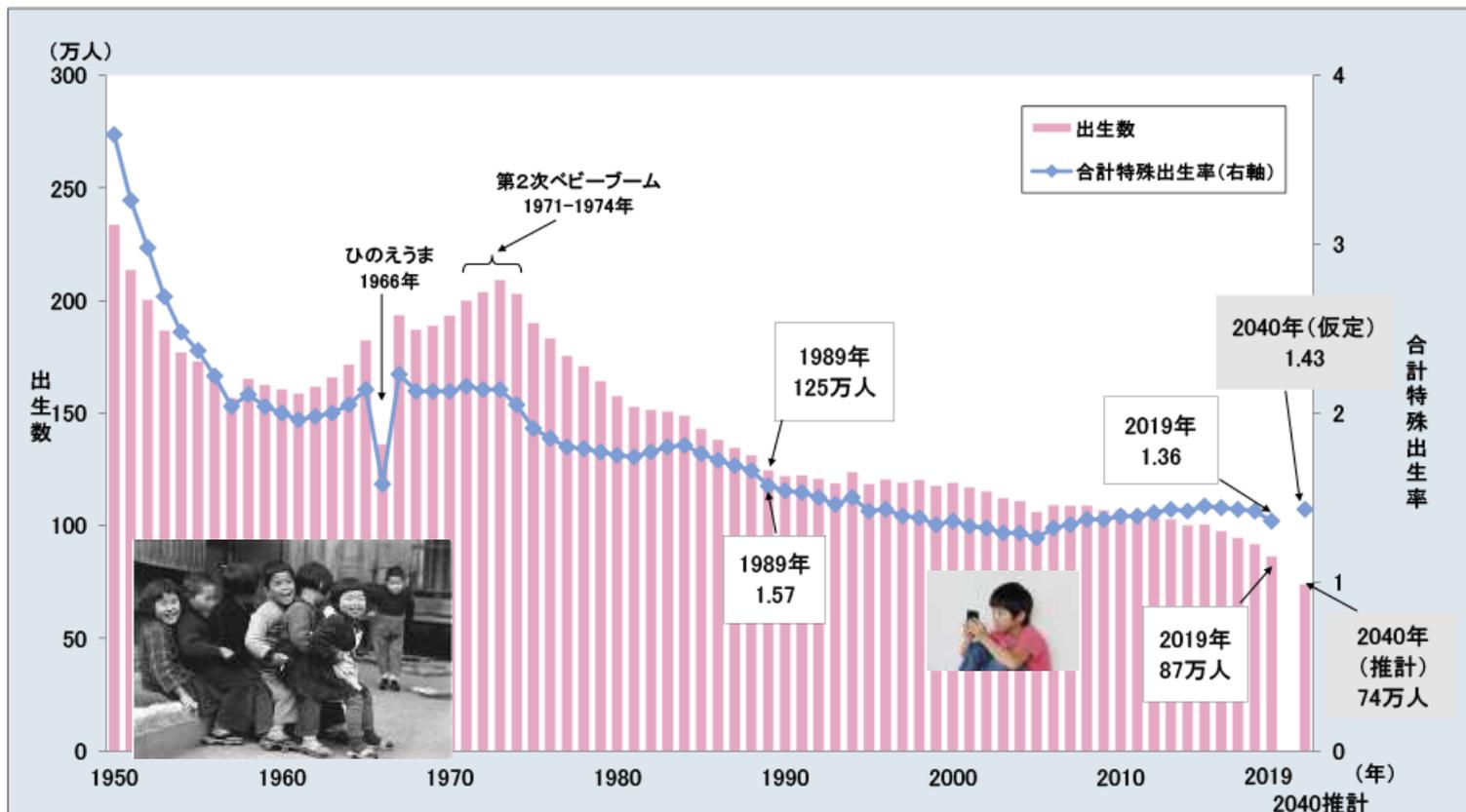
より便利な文明から文化を買う時代へ

「役に立つもの」から「意味があるもの」

では「**保育**」はどうでしょう

# 少子化もさらに加速 こどもを取り巻く環境も 急速に変化

図表 1-1-7 出生数、合計特殊出生率の推移



資料：2019年までは厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室「人口動態統計」（2019年は概数）、2040年の出生数は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」における出生中位・死亡中位仮定による推計値。

2020年の出生数も90万人を切り、予定より10年以上早く80万人を切る  
2023年の出生率は1,14 出生者数726,000人

# こどもの育ちの変化と政策の変化

## ■ こどもの変化

### ① 多様化するこどもの貧困

経済的貧困 関係性の貧困 経験の貧困

### ② 家庭の養育力や教育力の低下

子ども集団の減少 **生活リズムの乱れ**

基本的な生活習慣の欠如 運動能力の低下

コミュニケーション能力の低下

### ③ 地域の養育力や関係力の低下

#### ■ こどものために

① 家庭という子ども環境の機能の再生 ② 地域社会という子ども環境の機能の再生

③ 全ての子どもに対する保育保障★保育の質の確保

※ 静岡県川崎幼稚園のバス置き去り事件やさくら保育園の園児虐待事件

## ■ こども家庭庁が令和5年4月にスタート

こどもをすべての中心に **こどもと関係無くなる厚労省**

「こども」とは今までの18才という年齢でなく、「心身の発達の過程にある者」としている。

「全てのこども」誰ひとり残さず、抜け落ちることのない支援。私たちの関係では生まれる前から就学するまでのすべての子ども

1号・2号・3号 そして 0号（4号？）

こども基本法と市町はこども大綱を作成

テスト事業「保育所の空き定員等を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業」

いよいよ だれでも通園制度が動き出す

## さて気持ちを切り替えて

---

そもそも。すでに人が育たない社会だが  
こどもはこどもの中で確実に育つ

- クラスでは一番月齢が低い年少女児Aちゃん。家庭では0歳の妹がいてお姉さん。妹の世話も出来るしっかり者というお母さんの報告です。でも本園のクラスでは身体も一番小さく、年上の子からは小さい妹の様に可愛がられる存在です。自分からも登園すると、仲良しの年長児のところ行き「おはよう!」と言って抱きしめてもらったり、自分で出来ることも甘えてやってもらったりもしています。Aちゃん自身家庭ではお姉さんとして頑張っている分、保育園で妹のようにしてもらうことが、Aちゃんの心の育ちに大きな力になっているようです。

## こどもは仲間で育つよね

---

- 仲間がこどもの豊かなくらしやあそびをさらに充実していく
- 仲間との遊び場面は大人より応答的、持続的、情動的である
- 仲間の活動や応答は、大人より新奇で興味深い
- 仲間は同じ発達水準にあるために大人の行動より模倣しやすい
- 助けが必要な時には**大人**を、遊びたい時は**同年齢の友だち**を、真似ようとする時は**少し上のこども**を、何かを教えて欲しい時は**もう少し年上のこども**を、学びを確認したい時は**年下のこども**と遊ぶ

**少子社会・コロナ禍・ だからこそその子育てが必要ではないだろうか！**

## 新しい指針・要領での方向は？

資質・能力によって、幼児教育と小学校以上の学校教育で育成される子どもの力を共通に表す。

※知識・技能（何を知っているか）

※思考力・判断力・表現力（知っていることをどう使うか） 2008生きる力

※学びに向かう力・人間性（どのように社会と関わり、どのように生きるか） 2018

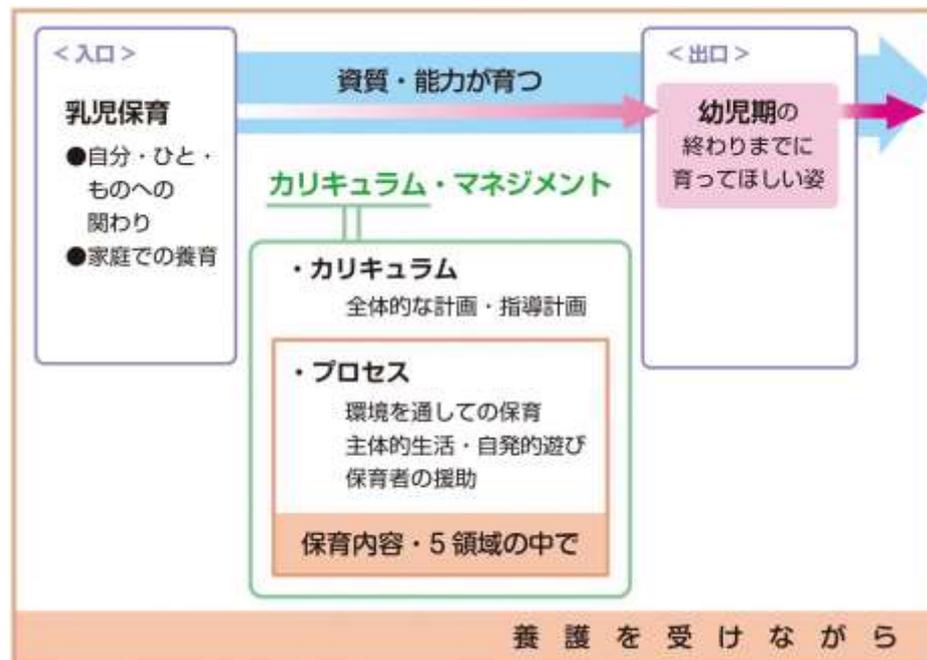
という三つの柱を基本とする。

それらは知的な力と情意的また協働的な力からなる。相互に循環的に育成されていく。

0歳では3つの視点が示され、1歳から5領域がねらいとして示されました。これまでより3歳未満児について「学びの芽生え」として位置付けている

## 乳幼児教育という新しい分野

- ▶ 3歳以上の幼児期の施設での教育を「幼児教育」と呼ぶ。
- 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の3歳以上について、共通の記載とする。
- 保育内容の5領域はすべての幼稚園・保育所・認定こども園の3歳以上について同一のものが指導される。
- 背景として、小学校就学前の就園率が幼保で同じ程度になったことと、研究や実践の積み重ねから幼児教育が幼児期に不可欠の教育であることが認識されたことなどがある。



## 子どもの学力 下がってるの？ 上がってるの？

---

2015年（h27）頃の文科省レポートでは

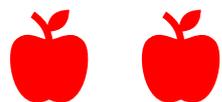
我が国の子どもたちの学力は、国際的に見て成績は上位にあるものの、

- 判断力や表現力が十分に身に付いていない。
- 勉強が好きだと思う子どもが少なく、学習意欲が必ずしも高くない。
- 学校の授業以外、学校の勉強以外の勉強時間が少ない

など、学習習慣が十分身に付いていないことなどの点で課題が指摘されているほか、学力に関連して、自然体験・生活体験など子どもたちの学びを支える体験が不足し、**人やものに関わる力が低下**しているなどの課題が明らかになっています。

**今までの教育とは異なる方法や評価の変化！ それについていけない大人**

## 一番お買い得なリンゴは？？？



2個  
200円



3個  
200円



ママと二人の  
ヨシさんの場合



5個  
250円



五人家族の  
ユミさんの場合

それぞれの場合でおとく度は変化する。

- こういう学びはオーセンティック（真正性とか真実性）な状況が学びの中に含まれている
- 子ども自身の日々の生活状況に合致した状況がある 単に1個あたりの単価を求めるというフォーマルな「算数」「知識」でなく、子ども自身の知識や経験から導出されたインフォーマルな知識ではなかろうか。 **問いに「正解が無い」のが答えになる。** 単価計算以上の「数理の限界」を学ぶより高次元な学びだ

## そもそも学力は

### コンテンツベース

- 量的に知識を持っているのが学力
- 何を知っているのか
- 時間内にどのような知識を身につけるのかという事が学力
- テストもどれだけ知っているか？を問う こういうのを内容を中心とした学力

認 知 能 力

### コンピテンシーベース

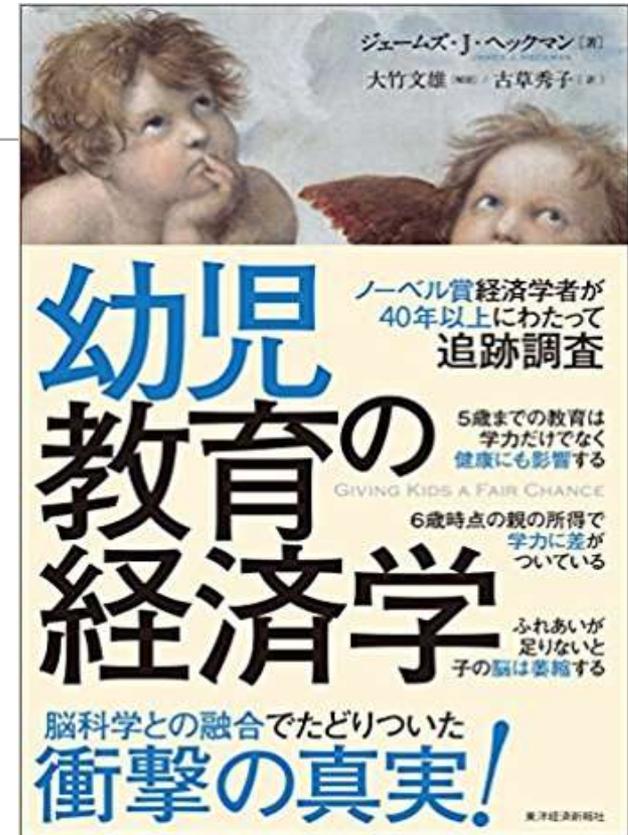
- 量じゃない、
- 思考するちから
- 思考したことを実行するちから
- そういうことをやろうとする意欲
- 仲間で問題解決をするちから
- 社会的なスキルも大切
- 対人関係調整能力なんかも必要

非 認 知 能 力

## 世界的な幼児教育ブーム??

国際経済について協議する機関が幼児教育・保育に注目する理由は、幼児教育・保育への公共投資が、経済的・教育的に国の経済成長にとって有効であるといわれるようになってきたからです。それは、1990年代からアメリカやイギリスを中心に、**子どもの発達を追跡するさまざまな調査が行われた結果(※)**、幼児期の学びがその後の子どもの発達や人生に大きな影響を及ぼすということがわかってきたことによります。

ヘックマン教授の主張で、幼児教育・保育への投資が社会全体にもたらす経済効果は、その後の就学期、就学後への投資よりはるかに大きいとありました。つまり、幼児期に質の高い教育・保育を行えば、子どもが成人したときの税負担の能力が高まり、そればかりか生活保護などの社会保障費用も抑制できるというものです。



OECD

経済協力開発機構 Organisation for Economic Co-operation and Development,

**(※) 長期縦断研究**

## 長期縦断研究（1）

- 幼児教育は人生にどんな影響を与えるのでしょうか。ある環境ですごした幼児がどのような大人になるのでしょうか。その疑問に答えたのが長期縦断研究です。
- 「チャウシェスクの子どもたち」と呼ばれたルーマニアの孤児院の子どもたちの研究では、アタッチメントが剥奪された育ちの結果ことに自己と社会的発達に長期的なダメージを与えたことが解明されました。
- ペリー就学前プロジェクトは、1962年から1967年にミシガン州で、低所得のアフリカ系58世帯の子供を対象に実施されました。就学前の幼児に対して、午前中に毎日2時間半ずつ教室での授業を受けさせ、さらに週に1度は教師が各家庭を訪問して90分間の指導をした。**指導内容は子供の年齢と能力に応じて調整され、非認知的特質を育てることに重点を置いて、子供の自発性を大切にする活動を中心としていました。**教師は子供が自分で考えた遊びを実践し、毎日復習するように促しました。復習は集団で行い、子供たちに重要な社会的スキルを教えました。就学前教育は30週間続けられ、就学前教育の終了後、これを受けた子供と受けなかった対照グループの子供を、40歳まで追跡調査したのです。
- 被験者になった子供は、当初はIQが高くなりましたが、その効果はしだいに薄れて、介入が終了して4年経つとすっかり消えました。IQを高める効果が小さいことについては、ほかの研究でも認められましたが、IQ以外の主要な効果は継続し、非認知能力の向上もそのひとつでした。IQテストの結果は変わりなかったものの、14歳の時点で学力検査をしたところ、就学前教育を受けた子供は受けなかった子供よりも学校へ行っている率が高く、より多くを学んでいたことから成績がよかったです。さまざまな社会行動についても、よい影響が見られました。40歳を迎えると、就学前教育を受けた子供は、受けなかった子供よりも学力検査の成績がよく、学歴が高く、特別支援教育の対象者が少なく、収入が多く、持ち家率が高く、生活保護受給率や逮捕者率も低かったのです。

## 長期縦断研究（2）

---

- このことから幼少期の教育を上手に実行することは、大きな利益をもたらす可能性があることがわかりましたが、注目すべきは「指導内容は子供の年齢と能力に応じて調整され、**非認知的特質を育てる**ことに重点を置いて、子供の自発性を大切にする活動を中心としていた。」ということです。
- 長期縦断研究で、乳児期のアタッチメントを大切にする事、そして家庭外の安定した大人との関係が**非認知能力**を育て、自己と社会性の発達を促すことが解ったのです。

「幼児教育の経済学」が出版され、「非認知能力」が流行語となり、様々な長期縦断研究が紹介されることになりました。例えば「マシュマロテスト」とか、「3000万語の格差」とかで・・・  
自尊心、自己肯定感、自立心、自制心、自信などの「自分に関する力」  
社会性と呼ばれる、協調性、共感する力、思いやり、社交性、良いか悪いかを知る道徳性などの「人と関わる力」などが注目された。

## はたして非認知能力を育てるとは

- 非認知能力はコンテンツベース（何かを教えて積み上げていくの）ではない。
- 子供を取り巻く環境の産物である。

こどもに直接はたらきかけることでなく、環境に働きかけることだが、はたして非認知能力の育ちにふさわしい世の中だろうか

1. マスク社会、コロナ禍を過ごすなかで他者と身体的距離をとったコミュニケーション様式への移行が加速してきたことは**マイナス**
2. そもそも、完成した脳を持つ大人は非認知能力よりも認知能力を優先してる。「必要だから」「便利だから」に流れることの**マイナス**
3. こどもを「発達途上の脳を持つ子ども」でなく、完成したこどもと認識する風潮がある**マイナス**
4. 実は、仮想空間での他者との経験は現実世界とは全く違うのだが、他者との身体接触によってセロトニンやドーパミンと統合される心地よさを感じる環境が少ない**マイナス**
5. 視聴覚経験を与えるだけでは学習効果が高まると思いこむ**マイナス**

「できるだけ・できる範囲で」「安心できる特定の他者」「脳と心の発達に必要なことを」

## 環境を整えるための様々な課題

## ストレスコロナ

### □こども自身（大人自身）

わからない。聞こえない。見えない。触れない。など 不自由な五感

### □ともだちとの関係（つながれない）

伝わらない。伝えることができない。一緒にならない。遊べない。

### □家庭・親のおもい

困ることで成長があるなら、困ってほしいけど困りたくない。 困らない。

### □保育者

わかってほしいけど・・・親とか仲間と困り感を共有できない

こどもがかわいくない

親と話し合うのがつらい

**みんな 思い通りにならない ……ストレス  
昨今、報道される事件の温床になることも**

# 気になるのは私と私たちの仲間のストレス

## 思い通りにならないことが続くと

1. 絶望し、やみくもに（根拠なくひたすら）自分を責めたり、わけなく他者を攻撃する（自分の感情を意識的にコントロールすることは困難）
2. 思い通りにならないのならと別の道を探る

## ストレスに強いのは 2

相手の立場をイメージして、自分がどう見られているかをイメージする・外からの視点（メタ認知）

自分を客観的にとらえて柔軟に選択して決定していく（前頭前野の活性化）

メタ認知を高めるためには思いや考え方を交換し合って相手の立場に立ってみる  
そのためには「他者との交流」が有効

**一人で考えよう！ や もうちょっと頑張ってみよう！** は逆効果  
気持ちを内側に向けがちな大人・子どもにはつながりを……

## 社会人ってなんだろう みんな大人 一人ひとり違って

---

- A) 苦手な人 いやな人 ともしっかり付き合わなくてはいけない
- B) 自己評価と客観評価のズレが少ない人は付き合いやすい
- C) 機嫌がいい人は付き合いやすい テンションが不安定な人は周りに気を遣わせる
- D) 人間に欠点はない。あるのは特徴だけ  
特徴がよいほうに出ると長所、悪いほうに出ると短所
- A) 損をしてでも他人の足を引っ張りたい 日本人はもともと意地悪？
- B) 知識は身を助ける

## 人間性の育ちは幼少期

---

- エレベーターの点検工事に来ていた青年に年長児のS君がこえをかけた。
- 「おまえなにしにきた！」突然小さな子供から乱暴な問いかけを聞いた彼はドマドマするばかり「S君。そういうときは、お兄さん何の仕事できたのですか？って聞くのよ」と近くの大人が伝えて、青年に「乱暴な言葉使いでごめんなさいね」とわびた。そしてその場からS君をプール遊びの場へと誘っていった。
- 一連の動きを見ていた僕は、彼に「小さな子は聞いた言葉をまねることはできても自分その場にふさわしい言葉を作ることは苦手なんです。ごめんなさいね」と言ったら「ホントびっくりしてしまって、どう答えたらいいのかわかりませんでした。」と頭をかいて答えてくれました。
- 思考（自己内対話）には内的言語を使うが、それまでに聞いてきた語彙を使って考える。そして思考の結果を言語（外的言語）として話す。
- 日常のその人を取り巻く環境で言葉が育つ。又、感情のコントロールもできるようになるし、人間性も育つ（3千万語の格差？）
- S君の5年間の人生で聞き育った言葉「おまえなにしにきた」をつくってきたのは私たち保育者。毎日、環境を育てよと言ってきたが、何を育ててきたのだろう。

遊びは子どもにとって主体的な活動であり  
遊びには人として成長していく為のあらゆる要素が含まれている

教育者は子どもを見て最初に「私に何ができる  
かしら」と考えるが、それは正しくない



まず「私はこの子をどう理解したらよいか」を考えるべき

この子はなにがしたいのか

なにをしてほしいのか

それを聞き続け それに応答していく

また、それを感じる私を育てる・・・

こどもを理解しようとし続け、こどもが自主性や主体性を発揮できるよう、子どもの気持ちに応じた環境を工夫していく

# 子どもたちを取り巻く「禍」

種々の貧困

COVID-19などの感染症

闇を抱えた新たな教育の方向

困り感を訴えるこどもたちや大人

## ひとりひとりによりそうのが保育心理士

ひとりひとりを大切にすることは難しいが  
一人を大切にすることはできないだろうか。

「今なにかできることはないだろうか」と

ほどよい仕事を探すのではなく、

楽しいだろうか つらくはないか 悲しくないか

一度立ち止まって、**自分**やこどもをよーく見る  
そこから歩みをはじめましょう